

愛知医科大学看護学部 同窓会会報

No. 14

2022年5月1日発行



会長挨拶



愛知医科大学看護学部
同窓会会長
藤澤 恵児
(第9期生)

愛知医科大学看護学部同窓会会員の方、並びに関係者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日頃から、愛知医科大学看護学部同窓会活動にご理解とご協力をいただきまして誠に感謝申し上げます。

2021年度も、新型コロナウイルスの感染が人々の日常生活にさまざまな影響を及ぼした1年でした。今年度もご家庭や仕事等において多大なご苦労があるのではないかと拝察致します。また、そのような中で医療活動に従事されています会員の皆さまに心からの敬意を表します。

看護学部同窓会も新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、今までのように同窓生が集まって何かを行うという活動は難しい現状にあります。そのような中ではありましたが、昨年度は同窓会の広報活動に力を入れ、同窓会の企画として同窓会主催のミニレクチャーを遠隔開催で実施いたしました。ミニレクチャーでは、同窓生のみならず、教員の参加もあり、アットホームな雰囲気ですさまざまな意見交換をすることができましたことを大変嬉しく思います。企画を進めて下さった同窓会理事の皆さま、ご参加いただきました同窓生、教員の皆さまに改めてお礼申し上げます。同窓会ホームページも適宜更新しておりますので、ぜひ見に来てください。

今年度は愛知医科大学創立50周年の年でもあります。看護学部同窓会も母校のさらなる発展のために力になることができればと思っております。大学からの要請により、「愛知医科大学創立50周年記念事業寄付金趣意書」を同封させていただきますので、ご協力の程よろしくご願ひ申し上げます。

看護学部同窓会が、卒業生からも在校生からもより身近な存在と感じてもらえるように役員一同取り組んで参りたいと思っております。ぜひ皆さまも同窓会を、先輩や後輩を超えた交流、卒業生同士の意見交換の場としても用いていただきたいです。

本年も皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

近況報告

第7期生 谷口 純平

同窓生だより

GICU病棟へ異動し3年目が終わり、看護師になって12年が過ぎました。私にとって12年間の臨床経験はあっという間に過ぎ去っていったと感じています。12年の間に大学院へも進学することができ、看護について様々な視点で学ぶことができ、とても充実した看護師生活であったと思います。

充実した臨床生活の中で、知識や技術の習得や看護師としての基盤をつくるための基礎教育の重要性を感じる事が多くなり、次年度からは、臨床を離れ教育の道に進むこととなりました。環境が変わり大変なことも数多くあると思いますが、初心に帰って頑張っていきたいと考えています。皆さんも、人生におけるターニングポイントがあるかと思いますが、1度きりの人生を楽しんでください。



愛知医科大学創立50周年記念事業寄附金趣意書の同封について(お願い)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素看護学部の運営にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本学は、昭和47年(1972年)開学以来、本年をもって開学50周年を迎えます。このことは、支えてくださる皆様のご協力なくしては成しえないものであり、改めて御礼を申し上げます。会報の発行にあたり、標記の趣意書を同封させていただきますので、是非ご一読ください。

今回募集する寄附金では、「学生レストラン オレンジ」の大規模改修が予定されております。改修後は昼食以外の時間帯でも利用できるよう、各席にコンセントなどを装備した自習スペースが設置され、後輩学生の学修環境が格段に向上するものと期待されております。

コロナ禍が続く中、皆様にご負担をおかけすることは、心苦しく存じますが、上述の理由をご賢察いただき、格別のご協力を願ひ申し上げます。末筆ながら、同窓生の皆様におかれましては、くれぐれもご自愛いただき益々のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

会費納入のお願い

本会は、皆様方からの会費により運営されています。今後同窓会を継続的に運営し、充実した会にしていくためには、皆様のご協力が必要となりますので、会費(終身10,000円)未納の方は至急振込をお願いいたします。

会費振込先 口座名 三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店 普通預金 口座番号 0004390
 口座名義 愛知医科大学看護学部同窓会

Editor's Note 編集後記

愛知医科大学看護学部同窓会員並びに卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。副会長の若山です。さて、看護学部同窓会の役割のひとつ同窓生相互の交流と親睦をより一層深める...というところを目的にして活動してきておりましたが、このコロナ禍、同窓会運営においても今まで行われていた年間行事がなくなり、理事会がリモートになるなど、皆さんと直接顔を合わせて交流する機会がなくなってしまいました。リモートの利便性に甘んじながらも、新しい生活様式の良し悪しを実感しているところです。

そんな中でも、同窓会では何ができるか試行錯誤し、新しい企画(ミニレクチャー)を始めました!できる活動からやっております。引き続き、会報においては同窓会の近況報告や情報提供の場としてもお使いいただきたいと考えていますので、皆様のお目に留めていただけたらなあと思います!

今後も皆様と一緒にさらなる発展をしていきたいと考えております、看護学部同窓会の運営にどうぞお力添えをよろしくお願い致します。

愛知医科大学看護学部同窓会副会長 若山沙代里(第6期生)

学会抄録集、学会ポスター、チラシやWEBまで、何でも対応!

その印刷物すべておまかせ
ください!!

Yamagiku

株式会社 山菊
本社 〒464-0858 愛知県名古屋市中区千種三丁目33番11号
TEL:(052)731-1525(代表) FAX:(052)732-5549
<http://www.yamagiku.co.jp>

愛知医科大学看護学部同窓会会報 第14号

発行日 2022年5月1日
発行 愛知医科大学看護学部同窓会
発行人 藤澤 恵児
編集人 若山 沙代里
連絡先 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
愛知医科大学看護学部学生支援課内 看護学部同窓会事務局
電話:0561-61-5412(直通) FAX:0561-61-1815
E-mail:kandou@aichi-med-u.ac.jp
URL:http://www.aichi-med-u.ac.jp/kangodousou/

第1回看護学部同窓会ミニレクチャー 〈令和4年3月12日開催〉

第1回看護学部同窓会ミニレクチャーに講師として参加して

第2期生 佐藤 輔

二期生の佐藤（竹内）輔です。このたびは同窓会初の「同窓生、在校生が交流を図りながら一緒に学び合える」というテーマでミニレクチャーを企画しました。この企画を実現させるために担当者の方々と調整を重ねてきました。コロナウイルス感染拡大もあり対面形式では困難となりZOOM配信の準備も看護学部学生支援課の方に協力していただき本当にありがとうございました。

今回のミニレクチャーは「認知症看護」についてお話しさせていただきました。超高齢者社会が目の前にやってきて認知症の患者さんも入院する機会が増えてきました。精神科認定看護師として活動する中で、様々な病棟で対応に困惑する話を聞く機会が多かったため今回のテーマにしました。レクチャー後には病院勤務、施設で勤務される方や、大学の先生と様々な立場からの意見や感想を頂くことができました。勤務する場が違って共通の悩みや、見えていなかったことなどが互いに刺激されてとても貴重な時間となりました。この会が様々な人をつないで、新たな発見や関係性が築ける場になればと思います。



参加者 アンケートの結果

Q. ミニレクチャーに参加しての感想

- 認知症の祖母を思い浮かべなら聞かせていただきました。人とのつながりを感じられるように関わっていきたくと思いました。
- 卒業してからの確かなキャリアを感じさせる内容でした。
- 今まで、精神科看護認定看護師からの講義を聴講する機会がなかったので、とても勉強になりました。また、職場での講演会とは違い、同窓生、更に母校の先輩からの講演であったため、質問なども活発で、より有意義な講演だったと思います。
- 現場を離れて数年ですが講義内容も分かりやすかったです。
- 患者さんへの介入だけでなく、多職種への指導などにも活かしていきたいと考えます。
- とても分かりやすく看護師としてどう対象者の方に関わると良いのか改めて実感出来ました。

令和4年度事業計画（案）

- ① 看護学部同窓会報14号の発行
- ② 令和4年度卒業生への卒業記念品贈呈
- ③ 令和4年度卒業生への看護学部同窓会長賞記念品贈呈
- ④ 卒業生への補助
- ⑤ クラス会等への補助
- ⑥ 看護学部退官教授への記念品贈呈
- ⑦ 愛知医科大学創立50周年事業への補助
- ⑧ 看護学部とのコラボ事業の実施
- ⑨ 看護学部同窓会広報活動（同窓会ホームページのリニューアル）

令和三年度 卒業生（第19期生）

ご卒業おめでとうございます。新しい門出を心よりお祝い申し上げます。



令和三年度 卒業生代表挨拶

第19期生 浅田百恵、鎌田奈穂

令和4年3月5日、私たち第19期生は、無事に卒業の日を迎えることができました。新型コロナウイルスの影響を受けながらも、4年間で締めくくることができ、大変嬉しく思います。ご尽力くださった関係者の皆様に心より感謝いたします。今年度も看護学部同窓会より、助成金をいただき、卒業生への卒業記念品として還元することができました。直接お礼を言えないことが悔やまれますが、卒業生一同感謝しております。

今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響を受け、先が見えない状況下で感染の恐怖と闘いながら勉学に励んだ一年でした。そのような中でも例年と遜色ない充実した講義と実習を実現してくださった先生方のおかげで、私たちは看護に携わる者としての心構えや技術を学ぶことができました。時には学習量の多さや変化していく医療のあり方に不安を感じたこともありましたが、その度に仲間と励まし合い乗り越えてきました。このように、学生を支えてくださる先生方やお互いに高め合える仲間と出会い、大学生活を過ごせたことを誇りに思います。

卒業後は、各々が自分の道を歩み始めます。この先、大学で学び得たことを生かし、より一層社会に貢献できる人材となるよう日々精進していきたいと思っております。

最後になりましたが、これまで私たちに指導してくださった先生方、職員の皆様、家族、支えてくださったすべての皆様に改めて感謝いたします。そして、愛知医科大学看護学部のさらなる発展を願い、ご挨拶とさせていただきます。



卒業生への記念品
ナイチンゲールブックマーカー

定期総会開催

看護学部同窓会定期総会を次のとおり開催いたしますので、ご多忙のこととは存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時 6月18日(土) 10:00～

方法 Zoomによる定期総会

出欠確認 以下のフォームに入力をお願いします。
<https://forms.gle/p7yyKrUVenuQVHTN8>

